

審査結果報告書

平成 25 年 9 月 3 日

主査 氏名 村雲 芳樹 

副査 氏名 田辺 聡 

副査 氏名 阪上 孝行 

副査 氏名 北里 英郎 

1. 申請者氏名 : DM09021 仲田 典広

2. 論文テーマ :

Unique and selective expression of L-amino acid transporter 1 in human tissue as well as being an aspect of oncofetal protein
(L型アミノ酸トランスポーター1のヒト組織における発現の特徴について)

3. 論文審査結果 :

本研究は、LAT1とLAT2の正常組織における発現を、ヒトの多くの臓器の組織切片を用いて免疫組織学的に解析したものである。LAT1は癌細胞において高発現していることが明らかになっており、癌治療の標的分子として非常に有用な蛋白である。現在、LAT1阻害剤が開発され、癌治療への応用に向けて動物実験が開始されている。本研究では、ヒト臓器におけるLAT1の発現分布が詳細に検討されている。それにより、LAT1がどの臓器で重要な機能を担っているのが明らかとなり、将来的にLAT1阻害薬が臨床応用された時に、副作用が発現する可能性がある臓器を予測することができる。さらに、LAT1の機能を代償する可能性があるLAT2の発現分布も同時に解析されていることから、両蛋白が発現している臓器ではLAT1阻害剤による副作用が軽減される可能性がある。このように、本論文は、将来LAT1が臨床応用された時に非常に有用な情報を提供できる論文であり、今後多くの論文で引用される可能性が有るインパクトの高い論文である。よって、全員一致で、本論文は学位論文に相応しいとの選考結果に至った。